

# しあわせ信州創造プラン2.0（原案） ～学びと自治の力で拓く新時代～

2017年（平成29年）12月

長野県

# しあわせ信州創造プラン2.0 (原案) の特色

## ～学びと自治の力で拓く新時代～

～タイトルについて～

現行計画の基本目標「確かな暮らしが営まれる美しい信州」を継続しつつ、本県の特長とも言える地域に根付く「学びと自治の力」を前(全)面に打ち出し、これを政策全体に通じる推進エンジンとして新たな時代を切り拓いていくというサブタイトルを付け、未来志向の計画としてバージョンアップ

### 「学びと自治の力」を推進エンジンとして政策を展開

- ✓ 地域に根付く学びの風土と自主自立の県民性を再認識し、その力を最大限に発揮

### 中・長期的視点で取り組む「6つのチャレンジプロジェクト」

- ✓ 敢えて難しい課題にバックキャストिंगの手法で組織・分野の枠を越えて取り組む
- ✓ 作って終わりの計画にしないために、実行しながら考え、深化させていく成長型のプロジェクト  
⇒ 現段階での方向性を示したもの

### これまで以上に地域重視の観点で「地域計画」を充実

- ✓ 地域の特徴を出すべく画一的な表記としていない
- ✓ 内容だけでなく分量も充実(現行計画の1.8倍)

### 「SDGs」(国連が定めた持続可能な開発目標)を意識

- ✓ 経済・社会・環境の3側面の課題に統合的に取り組み、誰一人取り残さない社会の実現をめざす

### 「信州創生戦略」を統合・吸収

- ✓ 人口減少社会への対応を重視
- ✓ 戦略の政策や達成目標をできる限り踏襲

(その他)

- ・構成の明確化＝6つの「政策推進の基本方針」→「めざす姿」→「総合的に展開する重点政策」
- ・県民の夢や希望を実現するため、積極的に対話を実施 271回(過半数を現地機関が実施)

そのためには……

政策力を高める 学ぶ県組織へ転換

↑  
実質7つめの  
チャレンジプロジェクト

## 計画の位置づけ等

- 概ね2030年の長野県の将来像を展望する長期ビジョン
- 上記を実現するための今後5年間の行動計画
- まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)に規定する都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略 [信州創生戦略を継承]
- SDGs(持続可能な開発目標)の達成に寄与するもの  
[経済・社会・環境の3側面の課題に統合的に取り組み、誰一人取り残さない社会の実現をめざす]
- 計画期間は、2018年度(平成30年度)から2022年度までの5か年間

## 基本目標

# 確かな暮らしが営まれる美しい信州 ～学びと自治の力で拓く新時代～

## 政策推進の基本方針とめざす姿

### 学びの県づくり

子どもから大人まですべての県民が主体的に学び、個々の持つ能力を社会の中で発揮している「学びの県」をめざす

### 【共通視点】

#### 産業の生産性が高い県づくり

時代や環境の変化に柔軟に対応する足腰の強い産業が持続的に発展し、地域の活力を生み出し、県民の生活を支えている「産業の生産性が高い県」をめざす

- 人口減少社会に立ち向かう
- 県民起点で現場に立脚する
- 先端技術を活用する
- 様々な主体と連携する
- グローバルな視点を意識する

#### 人をひきつける快適な県づくり

自然・文化に囲まれた環境の中で、利便性を併せ持つ質の高い生活を送り、国内外と活発に交流している「人をひきつける快適な県」をめざす

#### いのちを守り育む県づくり

自らの健康と豊かな自然環境を守り、安心できる暮らしを次世代に継承している「いのちを守り育む県」をめざす

#### 誰にでも居場所と出番がある県づくり

誰もが等しく社会からその存在と役割を認められ、自らの可能性に挑戦し、自分らしく生きている「誰にでも居場所と出番がある県」をめざす

### 自治の力みなぎる県づくり

多様な主体が協働しながら地域の課題解決に自ら取り組み、県全体の魅力を高めている「自治の力みなぎる県」をめざす

学びと自治の力が推進エンジンとなつて政策を展開

## 総合的に展開する重点政策

「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向け計画期間中に取り組む政策を6つの「政策推進の基本方針」ごとに整理しました。

《政策の柱の全体像》

### 1 学びの県づくり

- 1 生きる力と創造力を育む教育の推進
- 2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり
- 3 高等教育の振興による知の拠点づくり
- 4 生涯を通じて学べる環境の整備

・算数(数学)の正答率が全国上位(下位)25%に含まれる者の割合  
・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合  
・県内大学の収容力

### 2 産業の生産性が高い県づくり

- 1 革新力に富んだ産業の創出・育成
- 2 自立度の高い循環型経済圏づくり
- 3 海外との未来志向の連携
- 4 収益性と創造性の高い農林業の推進
- 5 地域に根差した産業の振興
- 6 郷学郷就の産業人材育成・確保

・労働生産性  
・就業率  
・開業率  
・県内出身学生のUターン就職率

### 3 人をひきつける快適な県づくり

- 1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大
- 2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり
- 3 心豊かな暮らしを実現する文化芸術の振興
- 4 2027年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けたスポーツ振興
- 5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造
- 6 中山間地域での暮らしの価値の再発見
- 7 生活を支える地域交通の確保
- 8 本州中央部広域交流圏の形成

・社会増減  
・県民一人当たり公共交通機関利用回数  
・移住者数  
・外国人延べ宿泊者数  
・観光消費額

### 4 いのちを守り育む県づくり

- 1 県土の強靱化
- 2 ライフステージに応じた健康づくりの支援
- 3 医療・介護提供体制の充実
- 4 生命・生活リスクの軽減
- 5 地球環境への貢献

・健康寿命  
・住宅の耐震化率  
・自殺死亡率  
・交通事故死傷者数  
・山岳遭難死傷者数  
・1人1日当たりごみ排出量

### 5 誰にでも居場所と出番がある県づくり

- 1 多様性を尊重する共生社会づくり
- 2 女性が輝く社会づくり
- 3 人生二毛作社会の実現
- 4 若者のライフデザインの希望実現
- 5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり

・合計特殊出生率  
・男性の育児休業取得率  
・県と市町村等の結婚支援事業による婚姻件数  
・児童養護施設入所児童の高校等進学率

### 6 自治の力みなぎる県づくり

- 1 個性豊かな地域づくりの推進
- 2 信州のブランド力向上と発信
- 3 地域振興局を核とした地域課題の解決  
⇒ 地域計画

・消防団員数  
・地域おこし協力隊員定着率

□ 主な達成目標

## 1 学びの県づくり

### 1-1 生きる力と創造力を育む教育の推進

- ・未来を切り拓く確かな学力の育成
- ・豊かな心と健やかな身体の育成
- ・すべての子どもの学びの保障

### 1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり

- ・地域と学校が連携した教育の推進
- ・教員と児童生徒が向き合うための環境整備

### 1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり

- ・県内高等教育機関の魅力向上
- ・県内高等教育機関を核とした地域づくり

### 1-4 生涯を通じて学べる環境の整備

## 2 産業の生産性が高い県づくり

### 2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成

- ・成長産業の創出・集積
- ・技術革新を活かした生産性向上
- ・起業・スタートアップへの支援

### 2-2 自立度の高い循環型経済圏づくり

- ・信州農畜産物の活用拡大
- ・信州の木自給圏の構築
- ・エネルギー自立地域の確立
- ・地消地産と連動した県産品消費の拡大

### 2-3 海外との未来志向の連携

- ・海外活力の取り込み強化
- ・国際連携の強化

### 2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進

- ・次代を担う人材の確保
- ・多様な技術の活用による効率的な経営の促進
- ・需要を創出するマーケティングの展開
- ・消費者とつながる信州の「食」の推進
- ・森林の持続的な管理と多面的な利活用

### 2-5 地域に根差した産業の振興

- ・活力あるサービス産業
- ・時代をつなぐ伝統的工芸品産業
- ・暮らしを支える建設産業

### 2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保

- ・信州産業を担う人材の育成・確保
- ・高度専門人材の確保
- ・働き方改革の推進
- ・多様な人材の労働参加

## 3 人をひきつける快適な県づくり

### 3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大

- ・移住・交流の新展開
- ・多様な働き方暮らし方の提案・支援

### 3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり

- ・稼ぐ観光の基盤づくり
- ・山岳高原観光ブランドの形成・確立
- ・戦略的なインバウンドの展開

### 3-3 心豊かな暮らしを実現する文化芸術の振興

- ・文化芸術に親しむ基盤づくり
- ・地域に根付く文化芸術の継承・活用

### 3-4 2027年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けたスポーツ振興

- ・2027大会に向けた体制整備
- ・スポーツによる元気な地域づくり

### 3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造

- ・潤いのあるまち・むらづくり
- ・官民施設の有効活用
- ・ICT利活用の拡大

### 3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見

- ・コミュニティを支える人づくり
- ・創造的な暮らしの基盤づくり

### 3-7 生活を支える地域交通の確保

- ・自家用車に依存しない地域づくり
- ・生活の基盤となる道路網の整備

### 3-8 本州中央部広域交流圏の形成

- ・鉄道の整備促進・利便性向上
- ・高規格幹線道路、地域高規格道路の整備
- ・信州まつもと空港の発展・国際化の実現

## 4 いのちを守り育む県づくり

### 4-1 県土の強靱化

- ・消防防災体制の充実
- ・災害に強いインフラ整備

### 4-2 ライフステージに応じた健康づくりの支援

- ・保健活動の推進
- ・信州ACE(エース)プロジェクトの新展開

### 4-3 医療・介護提供体制の充実

- ・ニーズに応える医療の提供
- ・医療従事者の養成・確保
- ・心と身体の健康を守る疾病対策の推進
- ・地域包括ケア体制の確立

### 4-4 生命・生活リスクの軽減

- ・生きることを包括的に支える自殺対策の強化
- ・交通安全対策の推進
- ・山岳遭難の防止
- ・消費生活の安定と向上
- ・食品・医薬品等の安全確保
- ・犯罪のない安全な社会づくり

### 4-5 地球環境への貢献

- ・脱炭素社会の構築
- ・生物多様性の保全
- ・水・大気環境等の保全
- ・循環型社会の形成

## 5 誰にでも居場所と出番がある県づくり

### 5-1 多様性を尊重する共生社会づくり

- ・障がい者が暮らしやすい地域づくり
- ・福祉を支える体制の充実
- ・社会的援護の促進
- ・人権を尊重する社会づくり

### 5-2 女性が輝く社会づくり

### 5-3 人生二毛作社会の実現

### 5-4 若者のライフデザインの希望実現

- ・結婚の希望の実現
- ・妊娠・出産の安心向上
- ・魅力ある子育て環境づくり

### 5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり

- ・困難を抱える子どもへの支援
- ・子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

## 6 自治の力みなぎる県づくり

### 6-1 個性豊かな地域づくりの推進

- ・自主的な地域づくりへの支援
- ・新時代に適合した県と市町村の関係構築
- ・多様な主体との連携・協働

### 6-2 信州のブランド力向上と発信

### 6-3 地域振興局を核とした地域課題の解決

⇒ 地域計画

# 地域計画

10の地域がめざす姿や重点政策を独自性を発揮してまとめました。市町村はじめ、様々な主体や他地域と連携・協働して取り組みます。

## 佐久

佐久の健康長寿や多様な産業等の地域の特長(魅力)を活かすとともに、地域外との交流を助け、住んでよし、訪れてよし、の地域をめざします

- 1 健康長寿と地産地消の推進を核とした地域づくり
- 2 美しい星空と青空をテーマとした観光地域づくり
- 3 地理的優位性を活かした移住の促進と二地域居住の探求
- 4 浅間山の防災体制強化及び活用
- 5 新たな交流・物流に向けた中部横断自動車道の整備促進

## 上田

多様な人材を呼び込み、人の力で輝く「上田地域」の創造

- 1 若者・女性・外部人材の活躍推進
- 2 産学官金連携、広域連携による基幹産業の振興
- 3 地域の強みを生かし健康をテーマとした観光地域づくり
- 4 結節点という立地を生かした住環境整備・移住推進

## 諏訪

諏訪湖や八ヶ岳が育む「豊かな自然」と地域の強みを活かした「競争力のある産業」が共存する地域の実現

- 1 産業競争力の強化、地域を支える人材の確保・育成
- 2 「諏訪湖を活かしたまちづくり」(諏訪湖創生ビジョン)の推進
- 3 選ばれ続ける観光地域づくり
- 4 安全・安心な地域づくり

## 上伊那

リニアの時代へ 世界とつながり豊かな暮らしが営まれる伊那谷(INA Valley)

- 1 “伊那谷らしく”豊かで活力に満ちた暮らしづくり
- 2 伊那谷の未来を担う人づくり
- 3 二つのアルプスを活かした交流圏域づくり
- 4 リニア開業を見据えた伊那谷(INA Valley)づくり

## 南信州

伝統と最先端が響き合うフロンティア「南信州」

- 1 地域の潜在力を活かした産業が躍進する南信州
- 2 豊かな自然・文化と共生し、人と地域が輝く南信州
- 3 安全・安心な暮らしが実現できる南信州

## 木曽

人口減少下でも「木曽らしい」上質な生活が安全に営め、自己実現ができる地域であるために

- 1 「木曽らしさ」を活かした地域づくり
  - (1) 日本の宝である「木曽の森林」や林業・木工関係教育機関等の集積を活かす
  - (2) 日本遺産にも認定された、優れた「観光資源」を活かす
- 2 「御嶽山」の安全対策の推進と土砂災害の防止等
- 3 人口減少下における人材の確保
- 4 生活基盤・経済活動基盤の確保

## 松本

美しい信州の中心に世界の人々が集い、賑わいあふれ、住みやすい松本地域を目指します

- 1 信州まつもと空港を活かした観光振興
- 2 産学官金連携等による健康長寿の取組
- 3 地震防災対策の充実強化
- 4 中山間地域の魅力向上

## 北アルプス

北アルプス地域に「暮らす人」誰もが自信と誇りを持ち、「訪れる人」すべてが感動と喜びを実感できる地域をめざします

- 1 北アルプスの恵みと人々の知恵を活かした産業の振興
- 2 四季折々に訪れ、北アルプスと安曇野の自然を満喫できる観光地域づくり
- 3 生涯を通じて健康で、安心・安全に暮らせる地域づくり
- 4 北アルプス地域を選び、生き生きと活動できる地域づくり
- 5 地域を支える松本糸魚川連絡道路の整備

## 長野

「活力あふれ・人が集い・文化薫る」中核的都市圏の形成へ

- 1 地域資源を生かして県経済をけん引する「活力あふれる」長野地域づくり
- 2 「人が集い、文化薫る」魅力ある長野地域づくり
- 3 地域重点政策を支える、地域一体となった「生活基盤の確保」の推進
- 4 「ながの果物語り」プロジェクト
- 5 「体験」と「交流」を軸とした「地域の特長を生かした広域観光」推進プロジェクト

地域連携プロジェクト

## 北信

雪とともに育む <sup>ふるさと</sup>豊かな故郷北信州

- 1 若者定着のための雪に強い故郷暮らしプロジェクト
- 2 「信越自然郷」等通年型広域観光推進プロジェクト
- 3 「米・果物・きのこ」産地パワーアッププロジェクト

概ね2030年の長野県のあるべき姿から振り返って、今何をすべきかを考え組み立てた政策の方向性を示しています。現段階は構想段階であり、今後、政策力を高める学ぶ県組織へ転換し、未来の長野県づくりに向け、様々な枠を越えて、敢えて難しい課題に「挑戦」し続けます。

## 1 人生を豊かにする創造的な「学び」の基盤づくりプロジェクト

### 【2030年に向けた課題】

- ・人生100年時代の変化に適応する学び
- ・これからの社会を生き抜く力
- ・学びを大切にする土壌と県民性の継承・発展

### 【チャレンジ（政策の方向性）】

- ・地域と学校が一体となった子どもたちの学びの支援
- ・バーチャルな学びとリアルな学びのベストミックス など

## 2 共創を促進するイノベティブな産業圏づくりプロジェクト

### 【2030年に向けた課題】

- ・「自分で創る」ことの継承への懸念
- ・経済環境や技術の急速な変化、・人口減少と人材不足
- ・遊休資産の増加

### 【チャレンジ（政策の方向性）】

- ・草の根イノベーション・スタートアップが生まれる風土づくり
- ・誰もが自分の個性を生かして働くことができる環境づくり
- ・自律的地域経済圏の形成と“あこがれ”の醸成、地域内経済循環・域内再投資の促進 など

## 3 未来に続く魅力あるまちづくりプロジェクト

### 【2030年に向けた課題】

- ・人口減少と人口密度低下により、まちの機能が低下
- ・従来の手法だけではまちの機能を維持できないおそれ
- ・環境負荷がまちの持続可能性にも影響する

### 【チャレンジ（政策の方向性）】

- 公・民・学連携した「信州地域デザインセンター(仮称)」により
- ・自家用車に過度に依存しない空間づくり
- ・脱炭素・エネルギー自立の地域づくり
- などを支援 など

## 4 美しく豊かな木と森の文化の再生・創造プロジェクト

### 【2030年に向けた課題】

- ・“木や森”と人との関わりの喪失
- ・森林管理の空洞化 ・森林の財産価値の低下

### 【チャレンジ（政策の方向性）】

- ・木や森と人とのつながりの再生・創造
- ・地域資源で自立した社会の構築 ・森林の価値変革 など

## 5 安心できる持続可能な医療・介護の構築プロジェクト

### 【2030年に向けた課題】

- ・医療・介護提供体制の持続可能性への懸念
- ・生活を支える様々なインフラの維持困難

### 【チャレンジ（政策の方向性）】

- ・医療・介護の持続可能性の追求
- ・生涯を通じて活躍できる健康づくり
- ・生活を支える様々なインフラの確保 など

## 6 人生のマルチステージ時代における多様な生き方の支援プロジェクト

### 【2030年に向けた課題】

- ・人生100年時代の到来
- ・人生の選択肢が広がる

### 【チャレンジ（政策の方向性）】

- ・複線型の働き・学びの支援
- ・違いを認め合う共生社会づくり
- ・中山間地域の暮らしの捉え直し など

## 政策力を高める学ぶ県組織への転換

県民の皆様により質の高い行政サービスを提供し続ける組織として、まず社会や地域に常に興味を持ち、県民の皆様と対話しながら、自ら積極的に学び、自己の能力を高めていく姿勢を持つ職員が活躍する「政策力を高める学ぶ県組織」へと転換します。

### 変革1 情報のアンテナを高く張る

- ・共感と対話の県政を基本とし、様々な課題を県民の皆様とともに考え、行動します。
- ・社会の変化を速やかにキャッチし、政策に活かします。

### 変革2 県民の取組を支援する

- ・多様な主体との連携・協働によりオール信州で取り組みます。
- ・行政圏域の枠を越えた連携を強化します。

### 変革3 組織の壁を越えて協働する

- ・部局を越えた横のつながりを重視し、実効性の高い施策を構築・実行します。

### 変革4 県行政のスキルを高める

- ・学ぶ意欲のある職員を育成・評価します。
- ・現状と課題を的確に捉えた政策形成とともに、大学との連携や先進技術を活用した手法を取り入れるなどにより、中長期的な視点で県民負担の軽減につながる施策を構築します。

### 変革5 持続可能な財政構造をつくる

- ・事業のスクラップ&ビルドの徹底や組織のスリム化、県有施設の有効活用などに取り組みます。